



南環発第 1016 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

南郷町長 阪 元 勝 久



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付・国道企第37号で依頼のありました今後の道路行政についての意見・提案の提出について別紙のとおり提出します。

文書取扱 : 環境整備課
電話 0987-64-1111

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

宮崎県 南郷町

道路は国の盛衰をなす骨幹であり、国民生活の重要な一翼を担うべく国・県・市町村が責任をもって整備、管理を行い地域・時代・文化・風習・そこに住む人々のニーズにより道路は形成されてきたと考えられる。

今後の道路行政については、

- ①国土の均衡ある発展は国民が健康的で文化的な生活を営む為にも必要であり住民の安全・安心な社会基盤としての道路網の整備をしていく必要がある。
- ②道路建設に当たっては地域の意見・要望等を十分に取り入れるとともに道路の必要性・効果等を理解してもらい地域に密着した道づくりができるように事業の推進を行う必要がある。
- ③これまで建設された既設の道路については今後も大切に使いみんなで造ったみんなの道という意識を住民と共有し協働していく必要性を説明していく必要がある。

○現状

東九州自動車道を始めとする高規格幹線道路やそれを補完する国道・県道等の幹線道路の整備が着実に進展している中、遠隔地に位置する本町にとって、都市や他地域との交通・連携促進の要となる交通ネットワークの整備はまだ十分とはいえない状況である。

特に、宮崎県南地域は県庁所在地の宮崎市と国道220号で結ばれているが、当該国道は海岸線の地盤が雨や台風等に弱く、最近の一極集中豪雨や台風時期或いは連続雨量170mmで交通止めや交通規制を受け災害時の救急医療を受けるべき道路の確保ができず社会問題化するとともに物流の停滞が地域の活性化、或いは企業の進出にも影を落としている。

また、町民の暮らしを支える生活道路は道路改良事業等により計画的に整備され、暮らしの利便性の向上や産業振興を支えています。しかしながら最近の社会資本の整備・社会環境の変化により通学路における歩道の未設置等の現状にそぐわない道路が見受けられるとともに現道における通常の維持管理においても困難な状況にある。

○課題

地域間交流の動脈となる東九州自動車道は地域の「生活の道」或いは「命の道」として待ち望まれており早期に全線開通し住民が安全で安心して暮らせる道路網整備の確保が待たれる。

国道220号及び448号並びに県道については物流・県南観光の重要路線であるため、安全通行、防災に配慮したバイパス・トンネル等の整備が急務である。

又、地域の生活道についても歩道の設置、各種標識、安全柵等の設置を行い通学路を中心に歩行者の安全を考慮し整備していくことが必要である。尚、維持管理費については、今後とも国・県からの尚一層の財政支援が必要である。

本町は人口、面積とも小さい町ながら、自然の恵みを存分に享受し、農林水産業の生産拠点として発展してきました。しかし近年は基幹産業である農林水産業の低迷や少子高齢化等により人口も減少傾向にある。

このような状況の中、個性と活力ある町として、これまで同様に持続的な発展を続ける為には積極的な取り組みを生み出す環境を確立し、地場産業の再生や新たな産業を育むとともに、温暖な気候と豊かな自然など地域資源を生かした魅力ある地域づくりを進める。

上記の実現を目指す為にも下記の条項を掲げる。

①広域幹線道路の整備

東九州自動車道を中心とする高規格道路の整備を早期に完成させ、今後予想される道州制にも対応できるべき体制を構築する。

②幹線道路の整備

国道220号については、宮崎空港へのアクセス道路、流通の重要幹線道路として円滑で安全通行を確保し、防災に配慮したバイパス、トンネル等の整備を行い県庁へ1時間以内でいける道路網を構築する。

国道448号については、観光道路として潤いのある道路景観の創出や防災に配慮した路線として近隣市との連携による観光浮揚を創出する。

各県道については各総合支所地域から本庁への通行路線として益々重要となり地域住民間往来の路線として整備・管理をしていく。

③生活関連道路の整備

1級町道などの主要道路については土地利用、利便性、重要度、緊急度を総合的に判断し、道路拡幅や改良を中心に行い円滑で安全な通行ができる路線の確保を行う。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④
宮崎県 南郷町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 基幹ネットワークの整備 ・ 地域活力の向上	・ 東九州自動車道（日南市～南郷町～串間市～志布志）の早期整備について ・ 町道口ヶ野線の改良工事	・ 高速道路は、国内を循環するネットワークを形成し、地方の発展に資する地域間交流連携を促進する「生活の道」、災害時の救急医療に必要な代替道路としての「命の道」として重要な社会資本である。 ・ 1級町道口ヶ野線の線は、南郷町側一般県道北方南郷線と串間市との市町境までの全長2.63Kmの基幹道路であり、沿線には亜熱帯果樹のハウス団地が完成し、今後輸送経路として県内外の搬出に活用されている。 また、串間市から南郷町・日南市への通勤・通学道路であり、朝・夕の交通量が多く歩道もない幅員で狭隘な為、通行車輛、歩行者、自転車等の通勤・通学路を確保し地域住民の安全確保を図る。	・ 高速道路は日本の将来を見据えた長期計画である。 先の中期計画では東九州自動車道の日南～南郷～串間～志布志間に活用した整備計画として位置づけられましたが、直しの基準として経済効率、人口動態等が言われていたが、地方が担っている役割（地元のものを送り込んで働く力・環境浄化等）も最大限考慮して整備する区間の早期着工を求めています。